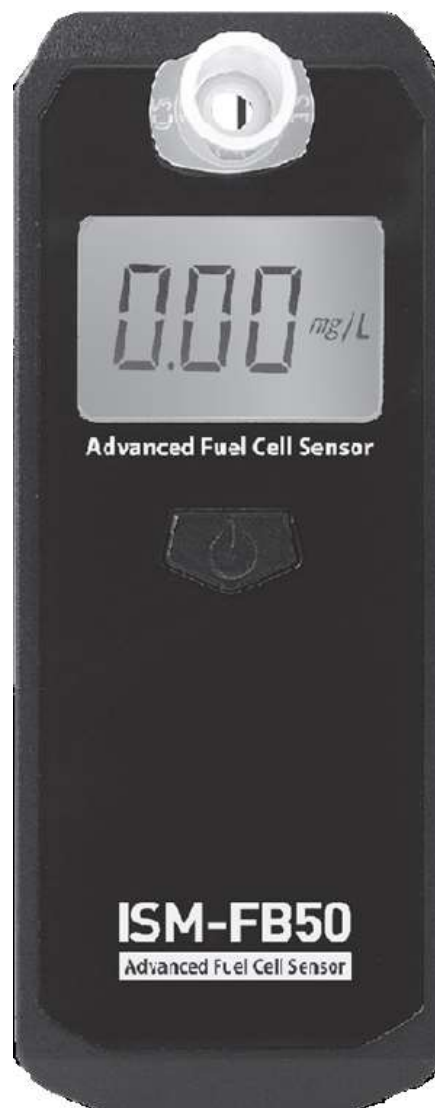


ISM-FB50

Fuel Cell Technology
Digital Alcohol Detector

アルコール検知器

取扱説明書



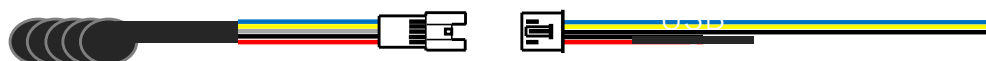
も く じ

使用目的に関する注意	2
各部の名称/付属品	3
動作モードの切り替え	4
表示部（ディスプレイ）	5
測定する	6
表示部メッセージ	9
使用上のご注意	10
測定について	10
保管について	11
取り扱いについて	11
定期メンテナンス	12
製品仕様	13

使用目的に関するご注意

道路交通法第65条第1項「何人も、酒気を帯びて車両等を運転してはならない」と遵守事項が定められています。本器のデータは飲酒の有無を判断するための一つの判断材料であって、運転の可否を判断するものではありません。測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行って良いか否かの判断に対して、本器の製造者、および販売に携わる関係者は一切責任を負いません。

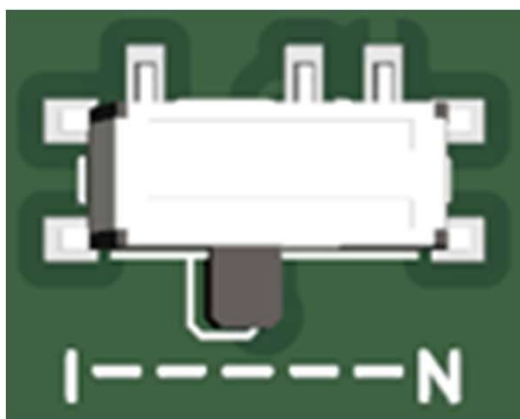
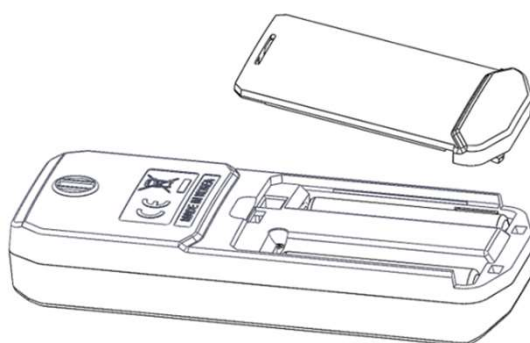
各部の名称/付属品



通信用ケーブル(コネクト)1本

動作モードの切り替え

裏面フタの内側に設置されているスイッチを利用してモードの切り替えを行えます。



N (右側):スタンダロンモード(単独動作します)

I (左側): 通信モード (測定結果をRS-485通信にて送信します)

表示部(ディスプレイ)

測定可能な状態になったら
「READY」が表示されます。

電圧が低い場合は「BATT」が表示されます。
この際は電源を確認して下さい。



測定結果は「RESULT」と共に表示されます。

測定結果が0.15mg/L以上の場合は「WARN」が表示されます。

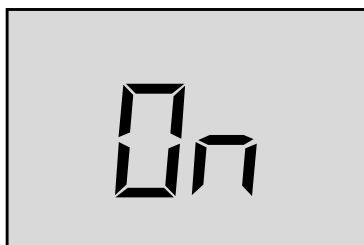
エラーメッセージが表示されるときはバックライトの色が赤色になります。

測定する

1. 本機に付属のマウスピースを取り付けます。



2. 電源スイッチを長押しして電源を入れます。
ブザー音とともにディスプレイに「On」が表示されます。
通信モード動作時はこのまま（スタンバイ状態）測定可能状態です。



3. スタンドアロンモード(単独動作)時は電源ボタンをしっかりと(1秒程度)押します。
累積測定回数表示された後、測定準備のためのカウントダウンが始まります。
※累積測定回数は10回あたり1と表示されます（例：451 = 4,510～4,519回測定）



測定する（つづき）

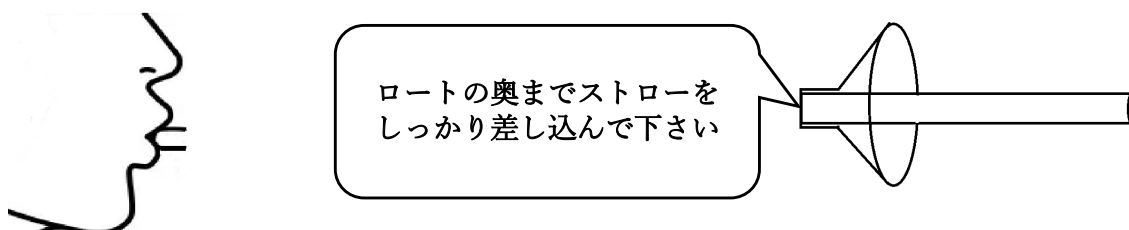
4. カウントダウン後、ディスプレイウィンドウに「bLo」と表示されます。
測定はマウスピース、ストローを使って行います。



マウスピースを使う場合は、取り付けたマウスピースを口にくわえて一定の力で3秒以上吹き込んでください。（左絵）

ストローを使う場合は、本体にロートを取り付けた、口にストローをくわえてからストローの先をロートに差し込んで（右絵）一定の力で3秒以上吹き込んでください。

※ストローは付属していません。



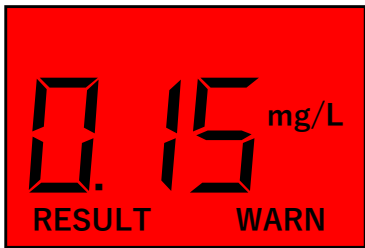
5. 測定単位は「mg/L(ミリグラムパーリットル)」

(道路交通法の酒気帯び運転の基準値単位)を使用します。

測定結果が「0.1mg/L」の場合、呼気1リットル中に、0.1mg(0.0001g)濃度のアルコールが含まれています。

測定結果の詳細は以下の通りです。（下記表）

測定する（つづき）

アルコール量 (mg/L)	測定結果	画面表示 (背景色)	表示内容
0.00	未検出	白色 	0.03mg/L未満は0.00mg/L表示
0.03～0.14	基準値未満検出		基準値(0.15)未満検出 基準値未満ですが、アルコールが検出されました。
0.15～	基準値以上検出	赤色 	基準値(0.15)以上検出 ピー音とともに測定値と警告「WARN」が表示されます。 道路交通法の酒気帯び運転違反レベルのアルコールが検出されました。

6. 10秒間の測定値の表示が終わったら自動的に待機状態「bLo」に戻ります。

再測定時は「bLo」の状態から再度息を吹いて下さい。

「bLo」状態から20秒以内に吹かないと自動停止します。

7. 測定濃度によって差がありますが、

正確な測定のために、再測定時は少し間隔（3秒～170秒）が必要です。

3分程度インターバルをおいてから測定してください。

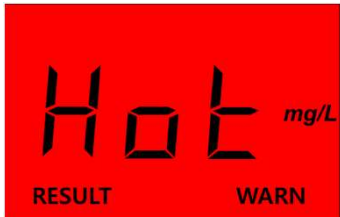
8. スタンドアロンモードモードでは測定値のメモリ機能はありません。

測定値の記録を残す必要がある際はネットワークモードから外部メモリへ記録してください。

9. 終了時は電源ボタンを長押し（5秒程度）します。

「OFF」表示され、ディスプレイウィンドウが消えます。

表示メッセージ

メッセージ	内容	メッセージ	内容
	測定結果が0.15mg/L以上の場合は、ビープ音とともにWARNというメッセージが表示されます。		電源電圧が低く正常な動作ができない場合は、bAt表示後に自動的に電源が切れます。
	測定結果が1.00mg/Lを超える場合ビープ音とともに、Hotメッセージが表示されます。		呼気時間が短いか弱い場合は、FL0表示後、測定待機状態に戻ります。
	測定回数が5,000回を超えると、CALメッセージ表示後に電源が切れます。校正後の使用が可能です。		周囲温度が使用温度範囲（5～40℃）を超えた場合、Outメッセージ表示後、自動的に電源が切れます。正確な測定のために製品の保管や使用温度を遵守してください。

※上記のようにメッセージが表示される際はディスプレイのバックライトが赤に変わります。

使用上のご注意

測定について

1. 食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に使用しないでください。
センサーが反応することがあります。
うがいをするか、20分以上経過してから測定してください。
2. 強い風が吹く場所やにおい等で汚染された室内での測定を避けてください。
血中アルコール濃度と呼吸中のアルコール濃度の相関関係には風、温度、湿度、周辺の空気など、周辺環境が影響します。
3. 安全にお使い頂くために以下のような使用を避けてください。
 - ・車両の運転中や機械の操作中は使用しない。
 - ・複数の人で一つのマウスピースやストローを使い回さない。
 - ・測定のとときに息を吸い込まないでください。機械の故障やケガの原因になります。
4. タバコ等の煙、食べ物の残渣、唾液などの異物が入らないように注意してください。
センサーが損傷する可能性があります。
5. 供給される電圧が低くなるとディスプレイにBat表示後電源OFF状態になります。
電源（USB）の接続をしっかりと確認してください。

使用上のご注意（つづき）

保管について

1. 保管のときはセンサーが保護されるようにケースに戻して保管してください。
2. 次のようなところでの保管は故障のおそれがありますので避けてください。
 - ・ 芳香剤、たばこ、スプレーなど、においの強い場所。
 - ・ 直射日光の当たる場所。
 - ・ 暖房器具に近い場所。
 - ・ 温度や湿度の変化の激しい場所。（保管温度0～40℃）
 - ・ 車への放置（車等は温度の上昇、寒冷地では温度が低くなります。）
 - ・ 湿度が高い、または水のかかる安い場所。また、湿度の低いところ。
 - ・ ほこりが発生しやすい場所。
 - ・ トイレ内やトイレの近くなど、アンモニアの影響がある場所

取り扱いについて

1. 本器は水洗いしないでください。故障の原因になります。
2. 本器を自動車のインターロック装置に接続して使用しないでください。
3. 分解や改造は絶対にしない。ケガや本体の故障のおそれがあります。

使用上のご注意（つづき）

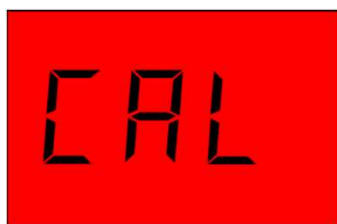
定期メンテナンス

本器は、正確な測定のために定期的にメンテナンスが必要です。

センサーは使用頻度によって劣化します。

センサーの寿命は一般的な使用環境で一年のご使用、
または5,000回測定後に再校正やセンサーの交換が必要です。

測定回数が5,000回を超えると、「CAL」メッセージ表示後に電源が切れます。



センサーの校正、または交換後に使用が可能になります。

センサーの校正・交換、本器の故障による修理が必要な際は販売店または製造元にサービスに連絡してください。

製造元連絡先：alc_mant@isms-i.co.jp

製品仕様

検知方式(センサー)	燃料電池センサー
測定範囲	0.00～2.00mg/L 0.01mg/L単位 (0.03mg/L未満は0.00mg/L表示)
ウォームアップタイム	15～35 秒
レスポンスタイム	3～22 秒
本体寸法	111.5mm x 45mm x 20.2mm(ケーブル除き)
本体質量	58.5g (ケーブル除き)
主な材質	本器:ABS、MA マウスピース:PP
電 源	D/C 5V (USB C type)
使用温度範囲	5 °C～40 °C (結露なきこと)
保管温度範囲	0 °C～40 °C (結露なきこと)
使用湿度範囲	R.H. 20～80% (結露なきこと)
センサー寿命	使用開始から一年又は、5000回以上測定し交換 (どちらか早い方)
生 産 国	韓国
保証期間	1年

※重要：一年または5,000回の測定のうち最初に到着する場合は、校正が必要です。
0.05mg/L 以上の測定を継続すると、校正サイクルが短くなることがあります。

保障について

製品の使用中に故障が発生した場合、購入日から1年間無償で修理を受けることができます。

使用者の過失や取扱い上の不注意による故障の場合、または校正サイクルを過ぎた場合には、保証期間内でも有償による対応とさせていただきます。